

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野 4 文化・スポーツ

評価責任者	所属	観光交流文化局 文化振興課
	氏名	課長 萩原 智美

政策 3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します

施策 1 芸術文化活動への参加促進と人材育成の充実

施策の目的
高齢化等によるメンバーの減少など、市民の安定した文化活動のためには次代の担い手の育成は急務であり、将来の本市の文化を担う子どもたちに、鑑賞・発表・体験を通じ、文化を身近なものとして捉え、多彩な文化を受け入れることができる場所を育てることが求められます。また、子どもに限らず、潜在する担い手に対し、様々なジャンルの文化情報を提供するとともに、文化全般に興味を持ってもらう取組が必要です。
子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実や、文化の担い手の発掘、育成及び支援を図り、市民の自主的で活発な創作活動を通じて、個性や創造性を発揮できる人材や、地元を誇りや愛着を持つことができる人材を育てます。

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	人材の育成・発掘等の事業について、目標値を大きく下回った。市民参加型事業についてもイベントの中止による参加者数の減少により左記の評価とする。しかし、個別の事業で見た際に目標を大きく達成している事業がある点などを踏まえて、今後の対応策やイベント内容、周知方法などを検討していく。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率(%)	評価	目標値の算出根拠	
									市民参加型文化事業参加者数・来場者数
2	41,000人	—	—	—					
3	58,600人	—	—	—					
4	58,600人	—	—	—					
人材育成事業参加者数	1	10,038人(2017)	10,400人	9,408人	90%	b	直近3か年の平均値。令和2年度は新型コロナウイルスの影響が想定されるため、70%の値。(100未満四捨五入)		
	2		7,300人	—	—	—			
	3		10,400人	—	—	—			
	4		10,400人	—	—	—			
指標以外の成果	1								
	2								
	3								
	4								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況	
							正規	非常勤	臨時		
市民参加の文化事業の推進・支援	市民参加育成型事業の実施、静岡市民文化祭及び静岡市芸術祭の開催		1	25,355	0	25,351	3.0	0.0	0.0	○	
			2	—	—	—	—	—	—		
			3	—	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—	—		
	各種文化事業を実施する個人、団体に対する助成			1	1,500	0	1,180	2.0	0.0	0.0	○
				2	—	—	—	—	—	—	
				3	—	—	—	—	—	—	
				4	—	—	—	—	—	—	
文化活動を担う人材の発掘・育成・支援	子ども・若者を対象とした鑑賞・体験・発表機会の充実及び各文化施設の運営へのボランティア等の参画支援		1	20,378	0	13,476	8.0	0.0	0.0	△	
			2	—	—	—	—	—	—		
			3	—	—	—	—	—	—		
			4	—	—	—	—	—	—		
			1								
			2								
			3								
			4								
			1								
			2								
			3								
			4								

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	市民参加型事業については、前年度までと違い、ストリートフェスティバルが執り行われなくなった点などから、新しい目標値を設定したため、今後の経過の観察が必要である。また、人材育成については、参加者数が減少しているため、今後の周知や企画内容の検討が必要である。	参加者確保に向けた効果的な広報の実施や、他の事業や課との連携、事業そのものの見直し等。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	2 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進
----	---------------------------

施策の目的	本市スポーツ推進計画では成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率68%を目指しています。H25年度の成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率が50.7%であることから、目標を達成するために、現在運動・スポーツを行っていない市民にいきなり運動・スポーツを実施してもらうことが重要となります。日頃運動・スポーツを行わない人が新たに運動・スポーツに取り組む機会を充実させるために、それぞれのライフステージに合わせた各種スポーツ教室、スポーツイベントを実施します。
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ振興課
	氏名	課長 杉山 範雄

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	R1の目標である各種スポーツ教室・イベントへの参加者数97,080人に対し、96,657人で目標を下回ったものの概ね目標を達成できているといえるため、評価を「A」とした。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	97,080	96,657	99.6%	a	
各種スポーツ教室・イベントへの参加者数 (千人/年)	92,315	2	—	—	—	—	スポーツ推進計画の見直しに伴い、推進計画の柱4「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」の指標と合わせる。 本施策の実現した姿は、上記のとおり、「スポーツ・イン・ライフ」が実践されている状態であるため、成果指標としてはライフステージに応じて実施するスポーツ教室、イベントの参加者数とする。 対象教室の見直し（「する」スポーツに絞るためIAIスタジアムの観客数を除く）とアーバンスポーツを追加したことで目標値を変更する。	
		3	—	—	—			
		4	—	—	—			
		1						
指標以外の成果			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
各種スポーツ教室の開催	・青年から中高年、高齢、女性、障がい者など様々な世代、ライフステージを対象としたスポーツ教室の開催 ・初心者スポーツ教室の開催	2	1	18,164	0	17,076	1.1	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催	・日頃の練習の成果を発揮できるスポーツや、気軽にできる運動・スポーツなど、誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催	1	1	56,195	0	49,600	4.9	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。
 ※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない)

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	実施率の低い世代等（子育て世代、女性、働き盛り世代）の実施率の向上	スポーツ実施率の低い世代にターゲットを絞り、ニーズに合った各種事業の充実を図る
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	3 芸術文化・スポーツ活動を推進するための環境整備
----	---------------------------

施策の目的	芸術文化・スポーツ活動を身近に体験できる、または感じられるということは、市民が豊かな文化的生活を営む上で重要な要因のひとつです。市民がより豊かな文化的生活を営み、静岡に暮らすことを誇りに思えるよう、世界中の多彩な芸術文化に触れ、文化交流が推進されるような環境整備や、市民がスポーツに気軽に参加する機会を増やすための環境整備を目指します。
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ振興課
	氏名	課長 杉山 範雄

（1）総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	令和2年2月まではほぼ例年通りの利用人数・利用率であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年3月の利用者が激減し、目的達成することができなかった。文化施設の一部では、音楽・科学・美術を融合した連携事業も展開しており、今後も引き続き、多様な文化に触れる機会を提供することで、目標達成を目指したい。またスポーツ施設では修繕等の休館影響もあったため、休館等がないR2年度以降は更に目標値に近づけるよう検討する。
	令和2年度	—	理由	—
	令和3年度	—	理由	—
	令和4年度	—	理由	—

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。

※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

（2）成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（％）	評価	目標値の算出根拠
	成果指標	文化施設利用人数	1,548千人	1	1,628千人	1,414千人	86.90%	
2				1,628千人	—	—	—	
3				1,628千人	—	—	—	
4				1,628千人	—	—	—	
文化施設利用率		76.20%	1	77.00%	72.88千人	94.90%	b	
			2	77.00%	—	—	—	
			3	77.00%	—	—	—	
			4	77.00%	—	—	—	
スポーツ施設利用人数		4802千人 (平成29年度)	1	5,000千人	4,383千人	87.66	b	
			2	5,000千人	—	—	—	
			3	5,000千人	—	—	—	
			4	5,000千人	—	—	—	

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
清水駅東地区文化施設整備（PFI）	清水駅東地区に整備した文化ホールの建設費割賦払い	2	1	56,226	0	56,225	2.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
文化・スポーツ施設の整備・運営（文化施設分）	市民の快適に文化・スポーツを楽しむことができる環境整備	1	1	1,466,934	0	1,392,524	10.0	4.0	0.0	△
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
文化・スポーツ施設の整備・運営（スポーツ施設分）	市民の快適に文化・スポーツを楽しむことができる環境整備	1	1	2,325,223	0	2,214,964	12.0	2.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
静岡市民文化会館再整備方針検討事業	施設に求められる機能や整備手法などの調査・検討と再整備方針の決定	3	1	20,000	0	18,700	3.0	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
学校等体育施設の活用	市立小、中学校等に設置した学校等体育施設利用運営協議会への運営の支線、施設利用許可	4	1	70,339	0	69,553	2.0	1.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画上実施時期が到来していない）

(4) 今後に向けた見直し等

年度	課題	見直しの方向性
令和元年度	・各施設にて、利用人数及び利用率の目標値に届かず、新型コロナウイルスの影響により今後も目標値と乖離する可能性が考えられる。 ・静岡市民文化会館の再整備については、令和元年度に再整備の方針の検討を行ったが、新型コロナウイルスの影響で、再整備の完了までに当初想定よりも期間を要する可能性がある。	・施設の利用促進を図るため、新規事業や企画展などを行い、周知方法を検討していく。 ・静岡市民文化会館再整備について、進捗管理を行い、市民の文化活動に対し支障をきたさないよう、業務を進めていく。
令和2年度	—	—
令和3年度	—	—
令和4年度	—	—